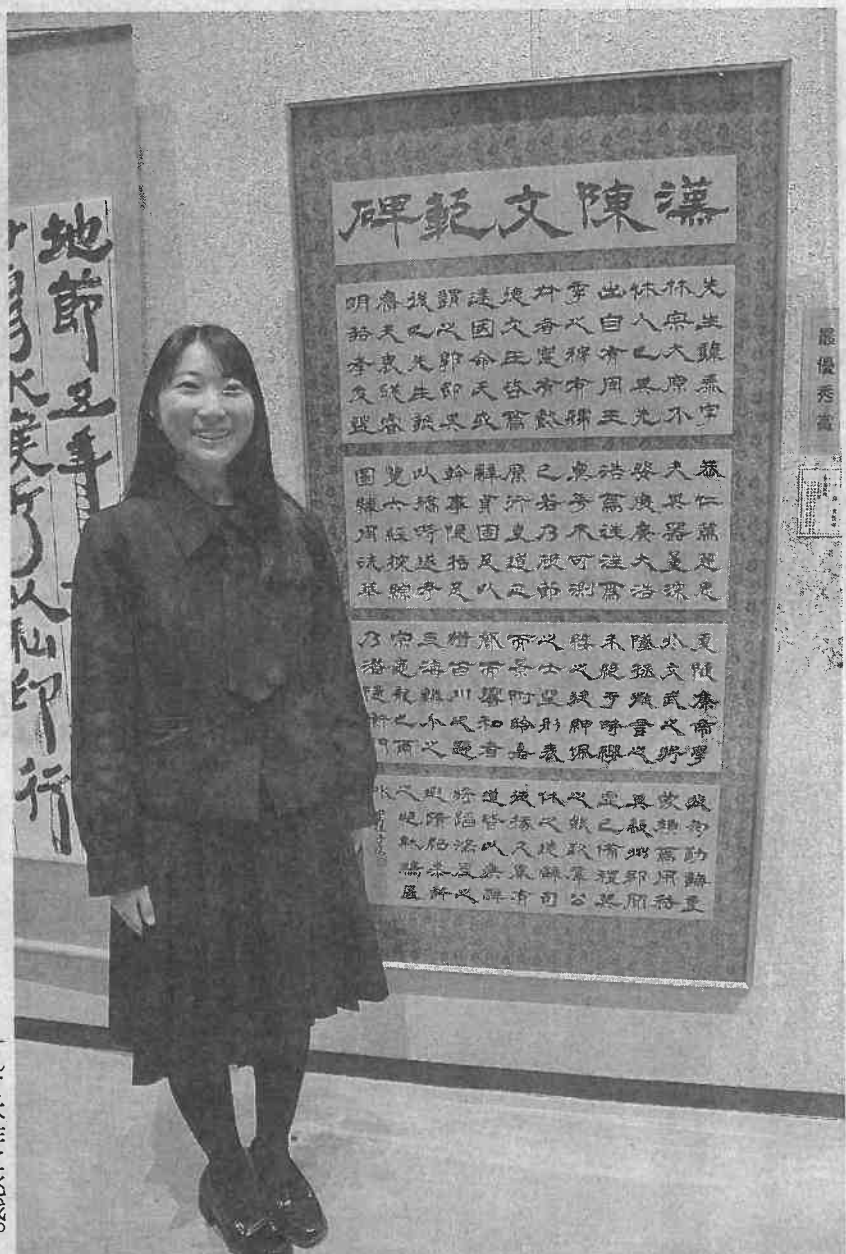


大津さん(盛岡二年)が最優秀賞



最優秀賞を受賞した大津里佳子さんと作品「臨 楊峴」

弾力ある豊かな線評価

県高総文書道部門 15～19日に304点展示

第46回県高等学校総合文化祭書道部門・第58回県高等学校書道展（県教委、県高文連主催）の審査が行われ、最優秀賞に大津里佳子さん（盛岡二年）の「臨 楊峴（ようげん）」が選ばれた。同展は、盛岡市内丸のトーサイクラシックホール岩手（県民会館）展示室で15日から19日まで開かれ、入選・入賞の中から304点が展示される。午前10時から午後5時（入場無料）。

本展には44校から81点の応募があり、大津さんの作品は、435点が入選・入賞。清代の書家楊峴の技法をよよく習得し、弾力ある豊かな線で書いて評価された。「漢陳文範の個性的な書風に引か

れて本作に挑戦。「文字数も多く大きさをそろえるのに苦労したが、文字の調子が途中で変わらないうちに8時間で一気に書き上げた」と振り返る。小学生のころからきょうだ

い3人で書に取り組み、高総文祭で初めての最優秀賞に輝いた。「目標にしていた賞を受賞することができてうれしい」と笑みを広げた。

来年度の全国高総文祭（清流の国ぎふ総文祭2024）書道部門に、1、2年生の優秀作品から6点が推薦された。盛岡地域からは櫻井仁美さん（盛岡二年）、類瀬奈々さん（盛岡四年）、氣田彩香さん（盛岡二年）、越田玲菜さん（盛岡市立一年）の作品が県代表に選ばれた。

（盛岡タイムス）

この記事は盛岡タイムス社の許諾を得て転載しています。